

SDGs for School
produced by Think the Earth

24

残っているのは、夏のイベントと冬の超文化祭、計2回のイベントです。夏のイベントでは、参加してくださった婦人会のみなさんや高校の生徒さんが布ナプキンプロジェクトを広めてくださいました。



○みなみ
・東京都
・高校2年生

■今年度の「SDGs for School x 曹洞禅」の活動を振り返って

今年は「てらスクール」を通して、人と人のつながりがたくさん生まれた一年だったと感じます。一番印象に

また、冬の超文化祭では、「この問題を解決したい」という強い意志を持った多くの同世代と出会うことができました。

「てらスクール」で出会った執筆メンバーと意見交換し、仲良くなれたことも良かったです。一方で、誌面では、身近な活動や問題をもっと紹介したかったという悔いがあるのですが、次年度のメンバーにその思いを託すとともに、社会問題に興味を持ってもらえるような活動を続けていきたいです。



○るーな
・新潟県
・中学3年生

私は今年、「てらスクール」でSDGsに関する活動に取り組

んでみて、多くの発見をすることができました。その中で最も大きかったと感じる発見は、この社会は思っていたよりも多様性に富んでいる、ということだと思います。記事のために自ら調べたり、イベントに参加したりしたことで、多くの人やまたそれぞれが描く多くのアクションを見て学ぶことができました。同じ「未来をつくる」という目的の中でも、こんなにも多くのアプローチがあるということを知り、とてもワクワクしました。このような貴重な体験を通して、次は私がより良い未来へのアプローチを切り開きたいと思いました。奇想天外でも自分なりのアイデアを大切にして、今後も活動していきたいです。





○ふるとり
 ・東京都
 ・大学2年生

『てらスクール』における一年間の活動では、自分が社会問題に対してどう考えているのかが見つめ直すことができました。誌面やイベントを通して他の人に伝える際、一つの出発点は「自分がどう考えているのか」だからです。自分の問題に対する姿勢は適切ななのか、何か見落としていることはないのか、他にできることはないのかと自問自答する中で、以前よりも「今の自分の考えはこうだ」と自信を持つて言えるようになりました。限られた誌面でそうした私の考えが伝えられたのかは不安が残る部分

ですが、読者のみなさんが自分の考えを持つきっかけになっていれば良いなと思います。そして是非自分の考えを元に行動していつてもらえればと願っています。



○のの
 ・東京都
 ・中学2年生

私が『てらスクール』の編集学生を始めてから2年が過ぎました。今年1年を振り返ってみて、去年と比べて成長したなと思うところは、「学びをつなげる」ということとです。1年目は、自分自身がSDGsを知ることから始まったので、自分が学んだことを『てらスクール』の記事にすることで一杯でした。でも、2年目になると、



○はるか
 ・秋田県
 ・高校2年生

1年目に学んだことを活かしながら新しいことを学ぶことができ、去年学んだこととの「つながり」を意識しながら記事を書くことができました。今後も、新しいことを学んだ際には、今まで『てらスクール』で学んだことや、自分の日常生活などとのつながりを意識して、学びの輪を広げていきたいと思えます。

SDGsを実践すると言っても何をすればいいのかわからないままです。だから思い切った本格的な団体に飛び込むことにしました。オンラインミーティングすら





初めてで、編集メンバーの主体性、創造性に刺激を受ける日々でしたが、自分が興味のあることや疑問に思ったことから一歩を踏み出すというSDGsへの向き合い方を学び、なにか特別なことをしな

ければならないという不安がなくなりました。そしてSDGs実践への意欲がわきました。先日、超文化祭ではやはり都会ならではの規模感と学生の突出した行動力を感じ、今の時代、秋田という遠方においてもたたくさんの可能性があると実感しました。私は来年度受験生になるため編集メンバーを継続することができませんが、一年でもこのメンバーと一緒に活動できたことを幸せに思います。楽しく、学びのある活動を今後も自分

なりに続けていきたいです。



○みのり
・カナダ留学中
・高校2年生

私の今年一番の思い出はサマリーイベントで布ナプキンを製作したことです。そこでアフリカの女の子たちに布ナプキンを届ける活動をしているShihoさんが、「たとえ私たちが善意で布ナプキンを作っても、そもそも洗える水がなかったり、女性の生理に対する偏見から外で干せないなど、ただナプキンが買えない」ということが問題の本質ではない」とおっしゃっていました。私はまさにこれが今年の私たちの目標であった「SDGsの本質を考える」と

いうことだと思えます。自分たちが小さなアクションを行うことも大事ですが、その先にどんな問題があつて、じゃあその原因は何なんだろうと蜘蛛の巣をたどるようにSDGsをたどることで、より解決のアプローチが見つけやすくなると思います。

●第4回みらいをつくる
超・文化祭レポート



★曹洞宗SDGs
シンポジウム
開催決定！
開催日…令和5年3月31日(金)
場所…東京ランドホテル



協力：一般社団法人シンク・ジ・アース /

新渡戸文化高等学校教諭 山藤旅蘭

